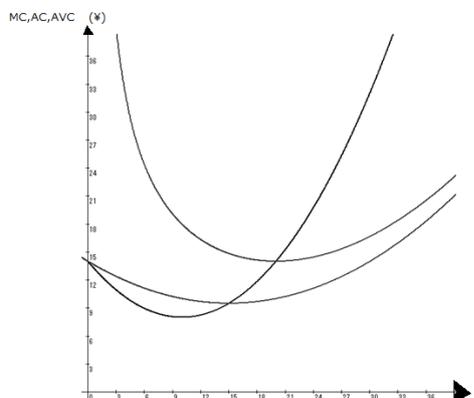


【平成 25 年度・後期学期・ミクロ経済学 II・課題 3】

☆ 平成 25 年 12 月 10 日 講義開始時締切

【問1】 ある完全競争市場にある、典型的な短期の費用関連曲線（平均費用、平均可変費用、限界費用の各曲線）が右図のように示された場合について、答えなさい。  
(今回は、3 つの費用関数を自分で作図してください。平均、平均可変の各曲線が最低点で、限界費用と交わることに注意。)



- (ア) 図の上に、どの曲線が、平均、平均可変、限界の各費用曲線を表すか示しなさい。
- (イ) この企業が市場で直面する財の市場価格が 24 であった場合に、この企業が利潤最大化するような、最適産出量を示し、この時の利潤額を示す部分について図の上を示しなさい。
- (ウ) この図の上に、損益分岐点となる点はどこか示し、(イ) の状態から損益分岐点に至るまで、どのような過程を経るか、言葉で説明しなさい。
- (エ) (ア) とは別に、費用関数を作図し、企業の供給曲線にあたる部分を示しなさい。
- (オ) 市場価格が、平均可変費用の最小値と平均費用の最小値の間にある場合、この企業は操業するか否か？理由を明らかにして答えなさい。